

2023年9月

SAC研究会

「SAC研究会・研究集会」のお知らせ

～解明進むニンニク成分「S-アリルシステイン（SAC）」の機能性最新報告～

SAC研究会（幹事企業：株式会社ダイセル、備前化成株式会社）は、2023年10月3日に株式会社ダイセル（東京都港区）にて、S-アリルシステイン（SAC）の機能性研究や企業活動情報の発信を目的に、第2回研究集会を開催いたします。

【SAC研究集会開催の趣旨】

SAC研究会は、ニンニク中に含まれる主な生理活性物質S-アリルシステイン（SAC）の機能性研究と情報発信を目的とした研究会で、2021年10月に活動を開始しました。本研究集会ではS-アリルシステインの機能性研究と機能性表示食品素材としての最新情報を報告いたします。



【日 時】 2023年10月3日（火） 14:00～18:00

* 17:00から情報交換会（希望者）

【会 場】 株式会社ダイセル 東京本社 15階 “High5-Point”
東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル

【参加費】 SAC研究会員 : 無料
非会員 : 3,000円（当日集金）
情報交換会 : 1,500円（当日集金）

【参加申し込み方法】

SAC研究会HPよりお申込みください。

info@sac-association.com

* 事前申込み締め切り：2023年9月26日（火）
当日参加可能

■ SAC研究会概要

- ・ 名 称 SAC研究会
- ・ 設立年月日 2021年10月1日
- ・ WEBサイト <https://sac-association.com/>
- ・ SAC研究会への連絡先 info@sac-association.com

【プログラム】

時間	演者	タイトル
14:00-14:05	SAC研究会事務局長	開会のあいさつ
14:05-15:05	同志社大学大学院 生命医科学研究科 教授 市川 寛	「外因性一重項酸素による線虫の寿命短縮に対するS-アリルシステインの効果」
15:05-15:25	大阪公立大学大学院 医学研究科 特任教授 竹村 茂一	【Web講演】 「S-アリルシステインの慢性炎症および臓器線維化に対する予防及び治療効果」
15:25-15:40	休憩	
15:40-16:00	日本大学 薬学部薬理学研究室 教授 小菅 康弘	ニンニク由来化合物S-allyl-L-cysteineの神経細胞保護効果の分子メカニズムについて
16:00-16:20	京都大学大学院 農学研究科 水谷 拓	【Web講演】 微生物酵素によるS-allyl-L-cysteineの合成と変換
16:20-16:30	備前化成株式会社 吉田 英生	『SAC』プロモーション活動 “脳疲労にSAC”
16:30-16:35	SAC研究会副事務局長	閉会のあいさつ
16:35-17:00	会場設営	
17:00-18:00	情報交換会（軽食等あり）	

【関連情報】

■SAC (S-アリルシステイン) とは

SACとは、ニンニクに含まれる機能性成分の一つで、正式名称は、S-アリル-L-システインです。ニンニクに存在するγ-グルタミル-S-アリルシステイン（GSAC）という物質から酵素反応によって生成されます。SACは、ニンニクにはごく微量しか存在しませんが、熟成や発酵によって増加させることができます。

ニンニクは、約3500年前から食品として摂取されているだけでなく医薬品にも使われるなど、さまざまな機能を有する農産物です。ニンニクには、抗酸化、抗炎症、免疫調整、心血管保護、抗がん、肝保護、消化器系保護など人々の健康に寄与する成分が含まれています。SACは機能性関与成分として機能性表示食品の届出が受理されるなど、研究が進んでいる成分です。

以上